

愛媛県愛南警察署協議会会議録
(令和2年度第2回)

日時	令和2年12月22日(火) 午後3時27分～午後4時40分
出席者	<p>1 警察署協議会側 会長以下6人</p> <p>2 警察署側 署長以下7人</p>
議事概要	<p>1 会長挨拶 前回の協議会以降愛南署管内では、依然として窃盗事件やDV事案が後を絶たず、また、これまで2年間交通死亡事故の発生がなかったところ、小学生が犠牲になるなどの悲惨な死亡事故が2件立て続けに発生している。 こうした治安情勢の中、愛南署の方々は、住民と一体となり、愛南町内の安全・安心のために献身的に日々奮起されているほか、警察組織の人的基盤の強化を図るため、優秀な人材を確保するリクルート活動や様々な広報活動を通じて事件・事故の未然防止を目的とした活動にも日々取組まれていると存じている。 こうした地道な活動は、地域住民にとっての安心につながり、警察の活動を知ってもらふ絶好の機会でもあるため、更に幅広い活動を続けていただきたい。</p> <p>我々委員が、積極的に住民意見を提言し、各種取組に反映させてもらうことが重要であり、今回の協議が、愛南警察署の活動の一助になればと考えている。</p> <p>2 署長挨拶 今年を振り返ると、新型コロナの感染拡大と感染防止対策一色といったところであり、各種術科大会や関係機関団体との会議やイベントが中止となった。こうした中、昨日、地元交通安全協会城辺支部の皆様方の御尽力により、例年どおり、愛南署の風物詩である交通安全を祈願した立派なジャンボ門松が完成し、お披露目することができたことを心より感謝しつつ、愛南署を御支援いただいている地元の皆様方の暖かさを改めて実感しているところである。 今年の当署管内の治安情勢を振り返ると、窃盗や暴行、傷害等の被害を認知しているほか、コンビニ等で扱う電子マネーを悪用した特殊詐欺の予兆動向相談、DV・ストーカー等人身安全関連事案相談を認知しており、引き続き、町民が安全で安心して生活できる環境づくりに向けて、署員一同尽力して参る。</p>

議 事 概 要	<p>交通事故発生件数は、前年同時期と比較し減少しているが、本年度第1回協議会までの2年間、交通死亡事故の発生がなかったところ、10月に2件連続発生している。人身事故を検証してみると、国道等主要道路における前方不注視等が原因による「人対車両」の事故が多いことから、事故分析に基づいた効果的な指導取締り、広報啓発活動等による交通安全対策を強力に推進し、交通事故抑止をして参る。</p> <p>引き続き、署員一丸となり「オール愛南町」のスタイルと意気込みで治安の任という責務を全うしていく所存である。本日も忌憚のない御意見をお聞かせいただき、今後の警察行政にいかしたいと考えている。</p> <p>3 業務推進結果、業務推進計画等の説明</p> <p>(1) 概要</p> <p>ア 前回の答申に対する取組状況</p> <p>令和2年度第1回協議会における諮問（町民の安全・安心確保に向けた積極的な広報活動の推進）に対し、「メディアや自治体広報誌を活用し、積極的な広報活動を推進されたい」との答申を受けた。</p> <p>よって、同答申に対する愛南署の取組状況について報告するとともに、愛媛CATVで放映された交通事故防止活動など4本の警察活動状況を収録したDVDを視聴した。</p> <p>イ 業務推進結果等</p> <p>令和2年9月から12月までの業務推進結果、令和3年1月から2月までの業務推進計画について、各課長・係長が報告・説明した。</p> <p>(2) 質疑応答・意見要望</p> <p>【質問】</p> <p>横断歩道で人が立っていても停止することなく素通りする車両が多い。どのようにすれば運転手に停止の意識付けを図ることができるのか。</p> <p>【意見】</p> <p>横断歩道を渡ろうとする人がいた場合に車両が停止するのは、「マナーじゃなくてルール」であるとのCMがあるが、警察による継続的な啓発活動により以前と比べると、ルールを守る運転手が増えてきたように思う。これまで同様、繰り返し啓発活動を実施することが必要である。</p> <p>【意見】</p> <p>愛南町では、はっきりと意思表示をする人が少なく、横断歩道を渡るのか、渡らないのか分からない場合が多い。長野県では、児童に対して、はっきりと意思表示をするよう「すり込み教育」が徹底されている。人間は、すぐに忘れるので子供の頃からの教育が大切である。</p>
------------------	--

議
事
概
要

【意見】

早朝から交差点で制服警察官が交通監視・指導を行っているがそれを見ると安心するとともに、車両の運転手だけでなく、歩行者や自転車の中学生、高校生に対する交通事故抑止効果があると感じている。これからも継続してほしい。

【回答】

横断歩道に横断歩行者がいれば停止しなければならないというのは、赤信号で止まるというのと同じ基本の「き」である。歩行者が渡ろうとしていなくても止まれる速度で走行しなければならない。運転免許を取得する時には道路交通法を勉強しており、更新時講習の際にも再教育を受けている。警察として指導取締りを実施しているものの違反が繰り返されているので、これまで同様繰り返し安全教育や取締りを実施する。

【要望】

深夜や早朝、パトカーが裏道を隅々まで警らしてくれているほか、早朝に警察関係車両から流れる「お早うございます」「行ってらっしゃい」というマイクによる声かけが聞かれ、非常に安心感がある。警察活動の可視化、見せる警戒には効果があるので、これからも継続していただきたい。

【回答】

引き続き、犯罪発生が多い時間帯や、朝夕など交通の流れが多い時間帯を集中的に警戒を実施していく方針である。

5 諮問及び答申

諮 問	答 申
令和3年愛南警察署運営目標	令和3年愛南警察署運営目標をベースとして、これまで同様に犯罪や交通事故の抑止の他、町民の生活を脅かす犯罪への対処を継続し、町民の安全・安心の向上を図られたい。

6 その他

協議会終了後、各委員は、「歩行者シミュレーター」を用いたバーチャル空間の街並みの中を歩く中で、道路横断時や歩行中の危険を疑似体験した。

～ 以上 ～

議
事
概
要

協議会開会の状況



会長挨拶の状況



署長挨拶の状況



DVD 視聴時の状況



「歩行者シミュレーター」体験状況



「歩行者シミュレーター」体験及び交通課員による説明状況

